

世田谷区議会企画総務常任委員会（2月24日開催）で出された意見

No	意見
1	バックキャストという考え方が重要だということが書いてあるが、一方で委員の方からのご意見を見ると、「目標」というところで「たたき台は、目標・未来像・目指すところが抜けている」とか「何を目指しているのか」、「目指す具体像を書く必要がある」など、かなり目標に対して厳しいご意見をいただいているという印象を持った。区としてこの辺りをどのように受け止めているのか、あわせて、今後の対応をお聞きしたい。
2	基本的な考え方の中での「子どもど真ん中」という文言については、何度か意見を述べてきたが、やはり、世田谷区が住民全体に対して提供していく住民サービスなどの基本的な計画だというのであれば、世田谷区に住んでいる方の全世代的な幸福を目指すっていうのは当然であって、「子どもだけ」とか「子どもが真ん中の社会」ということを打ち出すことによって、そこから抜けてしまう人たちというのは一種差別的に扱われていると感じてしまう。例えば、高齢者は「多様性」の中に入っているが、高齢者は「多様性」の対象なのか。いろいろな方が年代的に全世代的にいる中で、高齢者を「多様性」の中に入れるというのはちょっとおかしいと思うし、文言によって方向性などが見えてくる部分はあると思うが、その文言によって差別を感じたりするのはどうなのかと思う方もいるのではないかと。区民はいろいろな方がいて、そのいろいろな方に行政サービスなり手を差し伸べるというのが区の基本的なスタンスであって、「ここだけがど真ん中なんだ」と言われると、違う方は何か弾かれたみたいになってしまうのではないかとと思うが、その辺の考え方をもう少ししっかりしていただきたい。
3	Decidim の活用が今回行われていて、2月末で終わるのかもしれないが、世田谷区が Decidim を活用するということに対して、意外と私の周りでは反応があった。他の自治体の関係者などが「すごいな」と。実際使ってみてどうだったのか伺いたい。また、これから Decidim の活用を広げられるのかどうかということもあわせてお聞きしたい。
4	今、基本計画の議論をしているわけだが、その上というか土台というか、基本構想というものが2013年に作られていて、確認になるが、基本構想から10年経って、社会状況もなかなか大きく変化をしてきたように理解をしているが、新たに今回の基本計画に追加をした方がいいと思うような変化についての話などが共有されているようであれば伺いたい。